

## 第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県松島自然の家
- 第8節 宮城県蔵王自然の家
- 第9節 宮城県志津川自然の家



## 第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたっていつでも、どこでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

### 1 宮城県生涯学習審議会

第8次生涯学習審議会では、「第三次子ども読書活動推進計画」(計画期間：平成26年度～平成30年度)の策定について、審議した。

第5-1表 第8次宮城県生涯学習審議会委員名簿  
(平成26年3月31日現在)

#### 会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第1回会議	平成25年 7月19日	○「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」における実施内容の検証	宮城県 行政庁舎
第2回会議	平成25年 10月4日	○「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」における実施内容の検証	宮城県 図書館
第3回会議	平成25年 11月20日	○「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」骨子案の審議	宮城県 自治会館
第4回会議	平成26年 1月31日	○「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」中間案の審議	宮城県 行政庁舎
第5回会議	平成26年 3月28日	○「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」最終案の審議	宮城県 行政庁舎

No	氏 名	役 職 名
1	赤間 裕子	フリーキャスター
2	五十嵐りか	児童相談員
3	伊藤 誠	公募
4	猪股 洋文	加美町長
5	兼平 敏子	(社)仙台ユネスコ協会理事
6	櫻中 辰則	村田町教育委員
7	佐藤 幸也	宮城学院女子大学教授
8	佐藤 直由	東北文化学園大学大学院教授
9	鈴木 悟	宮城県古川高等学校長
10	中地 文	宮城教育大学教授
任 期 ・平成24年11月1日から平成26年10月31日まで。		

### 2 みやぎ県民大学推進事業

#### (1) 学校等開放講座

県民の学びの意欲に応えるため、高等学校、社会教育施設、大学の持つ専門的教育機能を地域社会に開放し、多様な学習機会の提供に努めた。

第5-2表 平成25年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況  
高等学校等開放講座

実 施 機 関	講 座 名	開 催 期 間	回数	受講者数
宮城県工業高等学校	イルミネーションをつくろう	8/3	1	2
宮城県亘理高等学校	パソコン入門～オリジナルの扇子を作ろう～	8/5 ～ 8/8	4	20
宮城県柴田農林高等学校	農業高校ってどんなところ？	6/15 ～ 7/6	4	10
宮城県白石工業高等学校	～金属の加工（NC工作機械）～	11/10 ～ 11/24	3	中止
宮城県大河原商業高等学校	Excelの基礎知識	7/31 ～ 8/2	3	中止
宮城県村田高等学校	生命科学入門	7/20 ～ 8/10	4	15
宮城県伊具高等学校	伊具高校でできる総合的な体験講座	5/18 ～ 10/5	4	24
宮城県東松島高等学校	忘れてはいけない日本の伝統文化～盆栽のある生活で、心に潤いを～	7/20 ～ 9/7	4	4
宮城県東松島高等学校	『オリジナル陶器の制作』～全ての工程を自分の手で～	9/14 ～ 10/19	5	4
宮城県古川高等学校	親子で楽しむ食生活5	8/3 ～ 10/12	4	12
宮城県古川工業高等学校	化学技術の世界にふれてみませんか	6/22 ～ 7/6	3	21
宮城県松山高等学校	松翠ゼミ 家政科を体験してみませんか？～手作りで生活を楽しく～	7/6 ～ 7/20	3	8
宮城県加美農業高等学校	親子でお米を育ててみよう！	6/15 ～ 10/19	3	12
宮城県小牛田農林高等学校	自然体験しませんか？～里山を満喫しよう！～	5/11 ～ 10/12	2	31
宮城県鹿島台商業高等学校	パソコンフル活用 仕事に趣味に必要なパソコン実務教室	7/3 ～ 7/24	4	19
宮城県迫桜高等学校	Let's enjoy 英語で脳トレ	7/13 ～ 9/21	4	5
宮城県佐沼高等学校	映画から学ぶ英会話	9/28 ～ 10/26	4	7
宮城県気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8/5 ～ 8/7	3	17
宮城県立視覚支援学校	楽しく学べるパソコン点訳講座	7/24 ～ 7/26	3	4
宮城県立聴覚支援学校	手話講座	8/19 ～ 8/22	4	19

(19高等学校20講座)

(計234人)

専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
宮城県図書館	叡智の杜を訪ねて	9/7 ～ 9/28	4	37
宮城県美術館	宮城県美術館コレクション散歩5	10/5 ～ 10/26	4	96
宮城県志津川自然の家	「生き生き ゆとりライフ」	10/26	1	17

(3施設3講座)

(計150人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北大学大学院文学研究科	人間理解の方法論	9/14 ～ 10/12	5	43
東北大学大学院経済学研究科	デザイン思考と事業創造	9/5 ～ 9/26	4	61
東北大学大学院歯学研究科	口の働き一食を楽しむために	9/6 ～ 9/27	4	60
東北大学大学院農学研究科	私たちの食料と健康と環境	8/28 ～ 9/25	5	85
東北大学大学院環境科学研究科 (循環型社会講座)	循環型社会の実現を目指して	5/16 ～ 6/13	5	31
東北大学金属材料研究所 (循環型社会講座)	地球にやさしいエネルギーと環境・省エネルギー技術～太陽電池・半導体・超伝導～	8/19 ～ 8/22	4	20
東北大学流体科学研究所	ながれ	7/5 ～ 7/26	5	36
東北大学多元物質科学研究所	物質・材料研究への誘い	7/5 ～ 8/2	5	25
東北大学東北アジア研究センター	東北アジアの人間と環境	10/23 ～ 11/13	4	16
東北福祉大学	現代の課題を読み解く	10/8 ～ 11/5	5	25
宮城学院女子大学	「女性たちよ！」第1シリーズ～美術・デザイン・ファッション篇～	6/15 ～ 7/20	4	50
宮城学院女子大学	「女性たちよ！」第2シリーズ～心理・健康篇～	9/21 ～ 11/9	4	42
東北生活文化大学短期大学部	食中毒とその予防法	8/31 ～ 9/7	3	20
尚絅学院大学	植物形態学あれこれ	9/11 ～ 9/13	3	35
仙台大学	「気軽に楽しめるニュースポーツ」	5/29 ～ 6/19	4	77
石巻専修大学	「今、人間として生きるとは？」	6/6 ～ 7/25	8	140
宮城誠真短期大学	～いやしの学び～	8/28 ～ 10/1	6	12
東北文化学園大学	ムセない食事するために～高齢者の摂食嚥下と対応～	9/7 ～ 10/5	4	24
仙台白百合女子大学	いきいき高齢期の過ごし方講座	1/11 ～ 2/1	4	38

(10大学19講座)

(計840人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編」

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 11月～12月 6回  
実践編 6月～9月 6回

○参加の状況

入門編 12人 実践編 8人

○修了者の名簿を作成し、市町村、関係団体などに配布し、その活用に努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座の修了者等を講師として、参加・参加型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し、各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに、生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ、創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○開設市町村

利府町 (10月10日～10月31日) 4回30人  
大和町 (9月18日～10月9日) 4回39人  
富谷町 (9月19日～10月30日) 4回30人

(4) 自主企画講座

生涯学習推進団体等が企画した講座を委託事業として実施した。企画内容は公募による。

実施団体等	講座名	開催期間	回数	受講者数
心のつぼみの会	「語り合いながらつながろう」	9月22日～10月27日	3	39
特定非営利活動法人マナビサポ20	仙台藩の埋もれた遺臣たちーあなたを歴史へ招待しますー	12月4日～12月5日	2	57

(5) 地域力向上講座

地域の課題を地域の人が見だし、解決に至るまでの過程等を学ぶための講座を開設した。

○開設市町村

石巻市 (7月27日～11月30日) 5回38人

3 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

(1) 協働教育推進総合事業の実施

震災により、家庭・地域・学校がともに大きな被害を受け、子どもを育てる環境が大きく損なわれた。そのため家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図った。

① 協働教育基盤形成事業

学校・地域・家庭の連携・協働を促進するための研修会等を実施した。

○コーディネーター養成研修会

6月5日 県庁 86人  
6月6日 石巻市桃生公民館 67人  
8月19日 県庁 91人  
8月20日 石巻市桃生公民館 84人

○地域活動支援指導者養成講座

年4回 4箇所 122人

○協働教育研修会(教育事務所毎に開催)

10月3日 大崎地区協働教育研修会 122人  
9月26日 栗原地区協働教育研修会 52人  
9月25日 南三陸地区協働教育研修会 120人  
12月5日 大河原管内社会教育推進大会・協働教育研修会331人  
9月19日 東部・登米管内協働教育研修会 121人  
11月30日 宮城県PTA指導者地区研修会・協働教育研修(仙台地区)179人

- 10月5日 大河原管内協働教育実践事例研修会 128人  
○ 協働教育ネットワーク会議  
5月22日 県庁 163人

② 協働教育普及・振興事業

協働教育推進にあたって功績のあった個人・団体や事業所等を表彰する。多様な担い手の協働による地域全体で子どもを育てる体制づくりの環境を整える。

- 平成25年度協働教育功績表彰（表彰式平成25年4月19日）  
被表彰団体5, 被表彰者4
- ホームページ, 報道機関を通じた広報活動
- 協働教育プラットフォーム事業実施市町訪問
- 各種会議等での事業PR, 啓発（社会教育主事会議, 市町村等生涯学習主管課長・担当者会議等）
- 県PTA連合会等関係団体との連携, 県P連活動計画への協働教育の位置づけ, 協働教育研修会の地区PTAとの共催(仙台)
- コミュニティづくり研修会
- 親の学びのプログラムモデル作成事業

③ 教育応援団事業

子どもの教育活動を支援する個人や企業等を「みやぎ教育応援団」として認証・登録し「教育応援団リスト」を作成して学校等にホームページを活用し情報を提供した。また, ログマークやリーフレットを作成し企業・大学, NPO等に対する加入の働きかけ（郵送・訪問等）を実施した。

また, 教員, PTA, 子ども会育成会の会議を通じて利用の促進活動を行った。

登録企業・団体 200件 個人363件（大学職員）

支援実績 ①職場見学受入 472件 ②就業体験 447件  
③講師派遣 877件 ④その他 243件

④ 協働教育プラットフォーム事業

家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる仕組みづくりを行い, 地域の教育力の向上や活性化を図り, 地域全体で子どもを育てる環境の整備を図った。

国の委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用し, 全額国庫負担で, 28市町村で実施した。

【委託事業】（平成25年4月～平成26年3月）

- 県事業実施市町村 28市町村（全額国庫）  
石巻市, 塩竈市, 気仙沼市, 白石市, 角田市, 多賀城市, 登米市, 栗原市, 東松島市, 大崎市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 丸森町, 亘理町, 山元町, 松島町, 七ヶ浜町, 大和町, 大郷町, 富谷町, 大衡村, 色麻町, 涌谷町, 女川町
- ① 市町村協議会の設置
  - ・市町村内の協働教育事業の企画立案
  - ・コーディネーターの配置, 養成
  - ・支援ボランティアの養成
- ② 活動内容
  - ・コーディネーター等による地域の学びの場の提供
  - ・家庭教育支援 ・地域活動支援 ・学校教育支援

(2) 放課後子ども教室推進事業

県内の小学校区において, すべての子どもを対象とし, 放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け, 地域の方々の参画（ボランティア活動等）を得て, 子どもたちの学習やスポーツ・文化活動, 地域住民との交流活動等を実施することにより, 子どもたちが地域の中で, 心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。

委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用し, 全額国庫負担で, 19市町村, 59教室で実施した。

【委託事業】（平成25年4月～平成26年3月）

- ①放課後子ども教室推進事業 19市町村 59教室  
（白石市, 多賀城市, 岩沼市, 登米市, 大崎市, 石巻市, 大河原町, 丸森町, 山元町, 富谷町, 大和町, 色麻町,

美里町, 加美町, 涌谷町, 松島町, 大衡村, 大郷町, 南三陸町)

②放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業

- 放課後児童クラブ指導員等ブロック研修会  
（6/4 大崎市 9人, 6/11 仙台市 15人, 6/27 石巻市 10人 7/1 岩沼市 24人 計58人）
- 宮城県放課後子ども教室指導者等研修会  
（11/14 宮城スタジアム インタビュールーム 98人）
- 宮城県放課後子どもプラン連絡調整会議の開催  
（7/26 県庁 10人 2/25 県庁 10人）
- 宮城県放課後子ども教室実施市町村訪問
- 宮城県放課後子ども教室推進事業「実践事例集」作成・配布

## 第2節 社会教育の推進

### 1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、社会教育の指導体制の強化を図るため、職員の適正配置・専任化の促進について働き掛けるとともに、社会教育主事の派遣を行った。

- (1) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局479人・公民館職員1,152人（職員の専任424人）・図書館職員204人・視聴覚教材センター職員33人の計1,868人である。なお、市町村における社会教育主事の配置率は94.3%である。また、社会教育指導員の配置市町村は20市町村で38人となっている。

（第5-2表参照）

市町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事17人を7市（岩沼1, 名取1, 多賀城1, 栗原1, 登米1, 東松島1, 気仙沼1）、10町（柴田1, 村田1, 亶理1, 山元1, 七ヶ浜1, 大和1, 松島1, 色麻1, 女川1, 南三陸1）に派遣し、市町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

- (2) 社会教育委員は35市町村に設置されており、364人で1教委当たり10.4人となっている。

- (3) 公民館等は241館・職員1,152人で1館平均4.8人である。公民館運営審議会は6市町に設置され、76人が配置されている。

県市町立図書館は32館あり、専任職員は204人（司書、司書補86人）1館平均6.4人となっている。

### 2 社会教育委員の会議

第32次宮城県社会教育委員の会議意見書「地域をつくる子どもたち」をテーマに審議を重ね、平成26年3月に意見書を教育委員会に提出した。

#### 会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第6回会議	平成25年 5月22日	○平成25年度生涯学習課所管事業について ○キーワードに関わる現状と課題	宮城県 行政庁舎
第7回会議	平成25年 7月24日	○テーマについての研修と審議 ○意見書の方向性及びその内容	宮城県 行政庁舎
第8回会議	平成25年 9月25日	○現地聴き取り調査結果の報告と意見交換 ○意見書の構成について	宮城県 行政庁舎
第9回会議	平成25年 12月17日	○意見書（第1次案）について	宮城県 行政庁舎
第10回会議	平成26年 1月28日	○意見書最終案について	宮城県 行政庁舎

### 3 研修事業

- (1) 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。（第5-4表参照）

- (2) 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5-3表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教 育 事 務 所 等	市 教 町 委 等 数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	11	2	4	17	22	41	139	202
仙 台	13	5	8	13	26	48	117	43	208
北 部	5	3	1	5	9	25	64	81	170
北部栗原	1	2	1	0	3	0	5	3	8
東部登米	1	3	1	0	4	51	2	0	53
東 部	3	2	2	1	5	13	41	0	54
南三陸	2	2	2	5	9	16	6	22	44
仙台市	1	3	0	0	3	249	12	152	413
広 域	3	1	0	3	4	0	0	0	0
計	38	32	17	31	80	424	288	440	1,152

第5-4表 第32次宮城県社会教育委員名簿  
(平成26年2月1日現在)

No	氏 名	役 職 名
1	石 垣 政 裕	みやぎお父さんの会ネットワーク世話人
2	太 田 一 江	山元町立山下第二小学校校長
3	岡 本 リ マ	宮城県PTA連合会副会長
4	佐 久 間 祥 平	宮城県青年団連絡協議会会長
5	齋 藤 洋 子	富谷町東向陽台公民館副館長
6	佐々木とし子	宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会会長
7	蘇 武 徳 行	宮城県岩ヶ崎高等学校校長
8	中 山 聖 子	(NPO法人ハーベスト代表理事) 公募委員
9	梨 本 雄 太 郎	宮城教育大学教授
10	星 美 保	気仙沼市家庭教育推進協議会会長
11	水 谷 修	東北学院大学教授
12	森 憲 一	山元町教育委員会教育長
13	森 雅 一 郎	東北放送アナウンス学院長
任 期		平成24年3月1日から平成26年2月28日まで ※名簿は五十音順

No.	事業名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4月20日 10月25日	県行政庁舎	114 88
2	社会教育関係職員研修会	社会教育関係職員の専門性を育成し、資質の向上を図るとともに、今日的課題の内容を取り入れ、社会教育関係職員としての専門性を高める。	市町村社会教育関係職員、公民館等社会教育施設職員、社会教育主事等	6月14日 7月19日 8月30日	県行政庁舎	75 110 78
3	社会教育関係職員・公民館職員研修会	公民館職員を中心として職務を遂行する上での問題点を共有し、各市町村における今後の社会教育行政、公民館運営等に活かす会とし、社会教育関係職員としての資質向上を図る。	市町村社会教育関係職員、公民館等社会教育施設職員、社会教育主事等	10月22日	仙台市役所	165
4	著作権セミナー ※文化庁と共催	著作権に関する基礎的な理解を深め、著作権制度の知識や意識の向上を図る。	市町村社会教育関係職員、社会教育施設（図書館、美術館、博物館等）職員、社会教育主事、教職員等	9月4日	県行政庁舎	116
5	コミュニティづくり研修会	東日本大震災を踏まえての避難所運営等の経験を基に、住民の地域活動の活性化を図りながらどのようにしてコミュニティづくり、地域づくりにつなげてきたのか等の講話や実践事例から各地域における活動の方向性について考え、コミュニティづくり、地域づくりに資する。	市町村教育委員会職員、公民館等社会教育関連施設職員、社会教育主事、社会教育関係職員	11月12日	県行政庁舎	76
6	県社会教育委員研修会	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、社会教育関係職員等	9月27日	県行政庁舎	165
7	社会教育主事講習事前研修会 (①・②)	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	①6月19日 ②6月20日	本町分庁舎	34 34

●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

1	社会教育主事講習 (A)	7月24日 (水) ~ 8月28日 (水)	36日間	3人	仙台市3
2	社会教育主事講習 (B)	1月22日 (水) ~ 2月28日 (水)	38日間	0人	
3	公民館職員専門講座	5月21日 (火) ~ 5月24日 (金)	4日間	0人	

(1) 公民館等

ア 設置状況

公民館は、平成25年度現在241館設置されている。市町村合併や学習ニーズの多様化・高度化に伴い地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。(第5-7, 8, 9表参照)

イ 職員体制と研修活動

(ア) 職員は専任の割合が36.8%で1館当たり1.8人である。  
(イ) 研修活動としては、社会教育関係職員研修会を3回と社会教育・公民館職員研修会を1回開催した。

●東北大学社会教育主事講習 (6月30日(月)~8月8日(金))  
受講者数34人 (県29人・市町村5人)

4 社会教育団体に対する支援

全県的組織もつ団体が申請する事業に対しての補助金の交付と県と共催による研修事業の共催助成事業と、団体相互の交流と情報交換の機会として社会教育団体連絡会議を1回開催した。

第5-6表

	支援対象団体名	代表者名
1	宮城県地域婦人団体連絡協議会	三浦 絢子
2	宮城県青年団連絡協議会	佐久間祥平
3	宮城県PTA連合会	佐々木賢司
4	宮城県高等学校PTA連合会	大友 美恵
5	日本ボーイスカウト宮城県連盟	村井 嘉浩
6	ガールスカウト宮城県連盟	笠間 恵子
7	㈱宮城県子ども会育成連合会	中鉢 義徳
8	宮城県公民館連絡協議会	千石 浩
9	宮城県社会教育委員連絡協議会	菅原 敏元
10	宮城県ユネスコ連絡協議会	玉懸 博之
11	㈱宮城県芸術協会	早坂 貞彦
1	補助対象事業 ・日本ボーイスカウト宮城県連盟「野外活動体験交流事業」(80千円補助)	
2	共催助成事業 ・宮城県社会教育委員連絡協議会研修会事業 (共催負担金30千円) ・公民館職員研修会事業 (共催負担金40千円)	

5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、市町村合併等による再編により施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備が求められている。

東日本大震災により被災した施設は、公立社会教育施設災害復旧事業より施設の復旧を図った。

第5-7表 公民館設置状況 (平成25年5月末現在)

区 分	対象人口 (人) (住民基本台帳)	現 況		1市町村当たり 館数 (館)	1館当たり人口 (人)
		市町村数	総 数		
大河原	181,027	9	41	4.6	4,415
仙 台	444,556	13	37	2.8	12,015
大 崎	210,492	5	40	8.0	5,262
栗 原	74,053	1	20	20.0	3,702
登 米	84,299	1	17	17.0	4,958
東 部	198,662	3	11	3.7	18,060
南三陸	83,311	2	16	8.0	5,206
仙 台 市	1,036,547	1	59	59.0	17,568
計	2,312,947	35	241	6.9	9,597

第5-8表 過去10年間における公民館整備状況

区 分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	この10年 間の平均	この5年 間の平均
	新築数 (館)											
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

表5-9表 公民館職員配置状況

(平成25年5月1日現在)				
区 分	館長 (人)	主事等 (人)	計 (人)	割合 (%)
専 任	42	382	424	36.8
兼 任	45	243	288	25.0
嘱 託	133	307	440	38.2
計	220	932	1,152	100.0

## (2) 図書館

第5-10表

図書館設置状況

	図書館名	設置年	床面積 (㎡)	蔵書点数 (25年度:点)	個人貸出点数 (25年度:点)	専任職員数 (25年度:人)	うち有資格者数 (25年度:人)	図書購入費 (25決算額: 千円)
1	宮城県図書館	明治14年	18,100	1,109,377	691,768	42	17	38,624
2	仙台市民図書館	昭和37年	3,750	543,743	830,647	23	10	52,754
3	仙台市広瀬図書館	平成3年	600	106,555	386,199	-	-	8,165
4	仙台市宮城野図書館	平成2年	2,811	230,945	516,311	9	2	14,629
5	仙台市榴岡図書館	昭和58年	607	67,734	215,980	-	-	7,367
6	仙台市若林図書館	平成5年	1,911	248,393	552,056	10	3	16,131
7	仙台市太白図書館	平成11年	2,454	220,782	743,046	9	3	16,585
8	仙台市泉図書館	昭和53年	6,698	523,814	864,947	18	5	25,035
9	石巻市図書館	明治14年	1,463	195,592	247,549	10	4	8,525
10	石巻市図書館河北分館	平成18年	300	29,064	12,334	-	-	700
11	石巻市図書館雄勝分館 ※被災のため休館中	平成18年	-	-	-	-	-	-
12	石巻市図書館河南分館	平成18年	369	15,202	8,803	-	-	400
13	石巻市図書館桃生分館	平成18年	303	10,862	1,939	-	-	270
14	石巻市図書館北上分館 ※被災のため休館中	平成18年	-	-	-	-	-	-
15	石巻市図書館牡鹿分館	平成17年	198	14,920	3,026	-	-	447
16	塩竈市民図書館	昭和51年	2,543	241,666	209,676	7	1	13,288
17	気仙沼市気仙沼図書館	大正5年	1,944	202,678	191,781	3	1	6,743
18	気仙沼市気仙沼図書館 唐桑分館	平成18年	168	12,215	11,934	1	-	1,192
19	気仙沼市本吉図書館	大正5年	498	79,577	40,198	3	2	2,434
20	白石市図書館	大正3年	1,439	136,143	92,843	4	2	6,211
21	名取市図書館	昭和51年	708	167,787	255,624	8	5	9,382
22	角田市図書館	昭和46年	1,055	123,977	119,118	5	3	6,614
23	多賀城市立図書館	昭和53年	1,541	211,294	320,543	8	3	10,828
24	岩沼市民図書館	昭和50年	1,231	152,049	366,990	4	4	13,741
25	岩沼市民図書館東分館	昭和59年	20	2,054	803	-	-	-
26	岩沼市民図書館西分館	昭和59年	20	4,063	3,607	-	-	-
27	登米市立迫図書館	大正6年	531	43,069	47,701	2	1	2,126
28	登米市立登米図書館	昭和29年	124	32,659	7,845	1	1	805
29	栗原市立図書館	平成10年	1,809	119,643	108,716	4	2	11,604
30	東松島市図書館	平成5年	999	131,983	219,598	2	2	9,920
31	大崎市図書館	昭和36年	1,519	170,072	270,782	10	5	27,541
32	蔵王町立図書館	平成16年	593	56,451	79,348	1	1	4,871
33	柴田町図書館	平成22年	315	42,034	112,441	3	1	4,261
34	丸森町立金山図書館	昭和11年	121	24,983	1,601	-	-	951
35	亘理町立図書館	平成6年	1,829	161,535	155,636	4	2	7,414
36	利府町図書館	平成16年	310	49,059	161,880	4	2	4,391
37	加美町中新田図書館	平成6年	2,878	270,423	116,593	3	1	8,633
38	加美町小野田図書館	平成16年	903	83,355	83,005	2	1	4,311
39	美里町小牛田図書館	平成2年	923	123,050	112,439	2	1	8,270
40	美里町南郷図書館	平成18年	261	33,134	26,751	1	-	-
41	南三陸町図書館	昭和62年	110	18,859	11,186	1	1	2,266
	合計	-	-	6,010,795	8,203,244	204	86	357,429

\*図書館設置状況は、図書館法第2条により、県内各市町村が設置する公立図書館の一覧。地区館、分館を含む。

\*蔵書点数は、平成25年度末現在の図書の所蔵冊数と視聴覚資料の所蔵点数を合計した数値。



**(3) 博物館**

登録施設・相当施設合わせて18館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生

活に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-11表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地	
登録博物館	東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
	宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
	瑞巖寺宝物館	宗教法人瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
	仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
	鹽竈神社博物館	宗教法人志波彦塩竈神社	昭和41年5月6日	塩竈市一森山1-1
	仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
	カメイ美術館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
	歴史博物館青葉城資料展示館	宗教法人宮城県護国神社	平成18年10月20日	仙台市青葉区川内1番地
	仙台市天文台	仙台市	平成20年6月5日	仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32
相当施設	マリンピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
	仙台市八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
	社会福祉法人共生福祉会福島美術館	社会福祉法人共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人梅壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
	大崎市松山ふるさと歴史館	大崎市	平成4年3月1日	大崎市松山千石字松山428
	芹沢長介記念東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
	リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市字赤岩牧沢138-5
	宮城県慶長使節船ミュージアム	宮城県	平成21年2月25日	石巻市渡波字大森30-2
	東北学院大学博物館	学校法人東北学院	平成22年3月17日	仙台市青葉区土樋一丁目3-1

**(4) 青少年教育施設**

自然の家3施設(県立)、青少年自然の家1施設(国立)、少年自然の家1施設(仙台市立)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

**(5) 宮城県婦人会館**

一日(日帰り)研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を、指定管理者である(財)みやぎ婦人会館が実施した。

**●公立社会教育施設災害復旧事業**

東日本大震災が激甚災害に指定され、本県全域が特定地方公共団体に指定されたことから、被災した公立社会教育施設に係る災害復旧費の補助金の交付に係る業務を推進した。

[平成25年度実績]

被災数 573施設                      補助金申請予定数 217施設  
 補助金交付内定数 187施設          交付決定数 187施設  
 事業完了数187施設                  平成26年度へ繰越 30施設

**6 子ども読書活動推進事業**

「第二次みやぎ子ども読書活動推進計画」(計画期間:平成21年度~平成25年度)に基づき、活動の担い手を育成する支援やネットワーク形成支援を行った。また、平成26年度からの5年間を計画期間とする「第三次みやぎ子ども読書活動推進計画」を策定した。

**(1) 読み聞かせ講座**

- ・丸森町  
開催日:平成25年7月22日~8月20日  
会場:丸森町丸森まちづくりセンター他  
修了者:30人
- ・南三陸町  
開催日:平成25年9月17日~10月29日  
会場:南三陸町図書館他  
修了者:30人

- ・山元町  
開催日:平成25年9月26日~12月13日  
会場:山元町中央公民館他  
修了者:22人

**(2) ブックトーク講座**

- ・石巻市  
開催日:平成25年10月8日, 11月6日  
会場:石巻市河北総合センター  
修了者:37人
- ・加美町  
開催日:平成25年10月25日, 11月21日  
会場:加美町中新田図書館  
修了者:39人

**(3) みやぎ子ども読書活動推進ネットワークフォーラム**

- 開催日:平成26年1月25日  
会場:県庁

参加者：284人

(4) 地域フォーラム・読み聞かせ講座

・登米市

開催日：平成25年10月10日～11月18日  
会 場：登米市中田生涯学習センター他  
修了者：24人

・大衡村

開催日：平成25年10月23日～11月20日  
会 場：大衡村公民館他  
修了者：17人

・大河原町

開催日：平成25年11月5日～11月28日  
会 場：大河原町中央公民館他  
修了者：24人

・色麻町

開催日：平成25年11月8日～12月6日  
会 場：色麻町農村環境改良センター他  
修了者：12人

### 第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

(1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内 容	対 象	期 日	会 場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。</li> <li>・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。</li> <li>・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。</li> <li>・MAP講習Ⅲ グループを成長させるための支援の方法や企画事業へのより効果的な導入方法について検討する。</li> </ul>	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 20人</p> <p>MAP体験会修了者 20人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 20人</p> <p>MAP講習Ⅱ修了者 20人</p>	<p>5月31日</p> <p>7月5日</p> <p>7月23日 ～ 7月25日 2泊3日</p> <p>8月5日 ～ 8月7日 2泊3日</p> <p>12月24日 ～ 12月26日 2泊3日</p>	<p>志津川自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p> <p>志津川自然の家</p> <p>国立花山青少年自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	<p>ジュニア・リーダーとして必要な知識・技能・態度を身につかせ、実践力を高めさせる研修会を開催。</p>	<p>ジュニア・リーダー初級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある中学2年生から高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 31人 仙台 32人 北部・栗原 24人 東部・登米 29人 南三陸 21人</p>	<p>7月6日・7日 7月27日・28日 8月3日・4日 8月17日・18日 7月13日・14日</p>	<p>教育事務所ごと5会場で実施（南三陸・登米、北部・栗原合同開催）</p> <p>蔵王自然の家 婦人会館研修室 国立花山青少年自然の家 志津川自然の家 志津川自然の家</p>
3	ジュニア・リーダー上級研修会	<p>ジュニア・リーダーによる発展的活動について深く理解し、自主的な活動意欲を高めさせる研修会を開催。</p>	<p>ジュニア・リーダー中級研修を修了し、10時間以上の活動実績のある中学2年生から高校生等（市町村教育委員会の推薦者）</p> <p>大河原 12人 仙台 13人 北部 5人 栗原 1人 登米 9人 東部 2人 南三陸 9人</p>	<p>12月25日 ～ 12月27日</p>	<p>蔵王自然の家（大河原、仙台管内） 志津川自然の家（北部、栗原、登米、東部、南三陸管内）</p>

## (2) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青少年長期自然体験活動推進事業	夏季休業中等に、親と離れて1週間程度の自然体験、長期宿泊体験活動等を通して自主性・社会性の育成を図る。	42人	8月4日～8月10日	蔵王自然の家
			実施せず		松島自然の家
			29人	8月2日～8月8日	志津川自然の家
2	セカンドスクールの活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒 153人	通年 9月9日～9月13日	蔵王自然の家
3	青少年教育施設ボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	青年成人 40人	通年	蔵王自然の家
			106人		松島自然の家
			20人		志津川自然の家

## (3) 青年の地域活動支援（青年文化祭、青年体育大会の実施）

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1) 地方青年文化祭 (2) 宮城県青年文化祭 (3) 宮城県青年体育大会 (4) 全国青年大会	各市町村青年 県内青年 県内青年 県青年代表	11月～2月	各教育事務所管内7会場 山元町 大郷町 大和町 東京都(日本青年館他)
				5月26日	
				8月11日・25日	
				11月8日～11日	
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1) 青年地域交流事業	各種青年	通年(年4回)	(財)宮城県青年会館

## (4) 青年団体への協力・援助

県内地域で活動している青年団体間の連携の必要性が叫ばれ、連絡協議会を結成し8団体が加盟している。

## ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成25年度登録団員数は、550人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援助を行っている。

## イ その他の青年団体

地域青年団体以外の青年団体は、次に挙げるとおりである。

宮城県農村青少年クラブ連絡協議会  
宮城県農協青年連盟  
宮城県商工会青年部連合会  
宮城県林業研究会連絡協議会  
宮城県友愛青年同志会  
宮城県森林組合青年部連絡協議会  
宮城県漁協青年団体連絡協議会  
宮城県青年国際交流機構  
宮城県青年の船友の会  
宮城県青年海外協力協会  
宮城県ユースホステル協会  
伊達な翼の会

## 第4節 成人教育

### 1 家庭教育

#### (1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実に努める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

#### (2) 事業

##### ○ 家庭教育支援推進事業

##### ① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要であり、学校教育・社会教育につながる生涯教育の起点でもある。しかし、近年家庭環境は急激に変化し、孤立感・不安感から子育てを負担に感じる人々が増加しつつある。このため、地域全体で親の「学び」と「育ち」を支える環境づくりが重要であることから、家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習の機会の提供、保護者から身近な地域での家庭教育に関する相談対応、支持者の育成及び家庭教育支援チームの普及・定着を図ることにより、家庭教育の充実と振興を図る。

##### ② 実施期間 4月1日～3月31日

##### ③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

##### ④ 事業内容

##### ア 家庭教育の情報提供

- ・家庭教育手帳データ（文部科学省HP）の活用促進
- ・生涯学習課HPの活用

##### イ 子どもの生活習慣確立の推進

- ・「はやね・はやおき・あさごはん」の推奨

##### ウ 市町村等での家庭教育関連講座実施への講師紹介

##### ○ 協働教育推進総合事業（家庭教育支援分）

##### ① 趣旨 同上

##### ② 実施期間 4月1日～3月31日

##### ③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

##### ④ 事業内容

##### ア 子育てサポーター養成講座

期 日 平成25年6月4日～10月29日まで各3日間  
8時間程度の研修

会 場 大河原管内 大河原合同庁舎  
仙台管内 仙台合同庁舎  
北部管内 大崎合同庁舎、栗原文化会館  
東部管内 登米合同庁舎  
南三陸管内 登米合同庁舎

内 容 地域の子育て支援者の養成

受講者 345人

##### イ 子育てサポーターリーダー養成講座

期 日 平成25年5月30日、7月30日、9月3日、11月6日  
4日間14時間程度の研修

会 場 行政庁舎

内 容 地域の子育て支援者リーダーの養成

受講者 83人

##### ウ 子育てサポーター・サポーターリーダーフォローアップ講座

期 日 平成25年11月8日～平成26年2月4日まで

半日または1日間2時間から4時間程度の研修

会 場 大河原管内 大河原合同庁舎  
仙台管内 仙台合同庁舎  
北部管内 大崎合同庁舎  
東部管内 登米合同庁舎  
南三陸管内 登米合同庁舎

内 容 地域の子育て支援者の資質の向上とネットワークの構築

受講者 138人

##### エ 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会

期 日 平成25年5月1日、平成26年2月20日  
2日間8時間程度の研修

会 場 行政庁舎

内 容 子育てサポーターリーダーのネットワークづくりと情報交換

受講者 271人

##### オ お父さんたちのネットワーク会議

期 日 平成25年6月15日・12月7日  
各半日研修

会 場 中新田公民館

多賀城市中央公民館

内 容 各地域のおやじの会を中心とした諸活動の情報交換会

受講者 38人

##### カ 市町村における家庭教育に関する事業・学級 実施回数 777回（参加人数20,158人）

### 2 P T A

#### (1) 平成25年度宮城県P T A指導者中央研修会

##### ア 研究テーマ

「幼・小・中・高・特別支援を貫くP T A活動」  
～「地域」を念頭において～

##### イ 期日・会場

7月～12月  
宮城県P T A指導者中央研修会  
宮城県P T A指導者地区研修会  
高校6会場、特別支援教育1会場

#### (2) 宮城県P T A連合会の主な事業

##### ア 代議員会（仙台市）

##### イ 地区セミナー（21会場）

##### ウ 単位P T A会長会

##### エ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

#### (3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

##### ア 総会（仙台市）

##### イ 「高P連会報」発行

##### ウ 高校P T Aフェスティバル2013

#### (4) 優良P T Aの表彰

文部科学大臣表彰（5団体）

- ・気仙沼市立月舘小学校P T A
- ・富谷町立成田東小学校P T A
- ・仙台市立郡山小学校父母教師会
- ・仙台市立広瀬中学校P T A
- ・宮城県石巻高等学校P T A

文部科学大臣表彰（8個人）

- ・高橋 定光
- ・小平 英俊
- ・那須野 毅
- ・加藤 秀次
- ・佐藤 清明
- ・熊谷 春恵
- ・大久保 永太郎
- ・芳賀 雷己

### 3 人権教育

#### ・平成25年度人権教育指導者事業

学校・家庭での日常生活において、身近な出来事が人権に関わることであることに気づくとともに、基本的人権はいかに理解されるべきであるかを考え、人権理解の涵養をはかることを目的に開催。

#### ア 人権教育指導者研修会（教職員・福祉関係職員・児童委員民生委員等）

期 日 平成25年7月26日（金）  
会 場 川崎町公民館  
内 容 講演会「人権の視線～夫婦，親子について～」  
参加者 80人

#### イ 人権学習会（PTA関係者，社会教育関係者等）

期 日 平成25年11月17日（日）  
会 場 登米市中田農村環境改善センター  
内 容 講演会「誇りを持って生きるということ」  
参加者 210人

### 4 女性教育

#### (1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と，婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

#### (2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況（除：仙台市）

○学級事業数 58 参加者数 6,508人

#### (3) 市町村におけるボランティアリーダー養成講座（除：仙台市）

○講座数 5 参加者数 266人

#### (4) 地域婦人団体の現状

県内では117単位団体，9,263人の会員を有する宮城県地域婦人団体連絡協議会は，青少年の健全育成，男女共同参画社会の実現，環境保全と資源の有効利用，高齢化社会への対応，世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ，求めに応じて指導，助言，援助を行った。

## 第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発，人材の育成を図るため，視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ，その具体化と実践化に努めた。

### 1 視聴覚教材センター（ライブラリー）の設置状況

#### (1) 市町村の視聴覚教材センター（ライブラリー）

地域視聴覚教材センターは，完全公立化（一部事務組合4・単独5）され，視聴覚教育推進拠点となっている。

人的体制・予算措置などに格差がみられ，事業の展開にも影響がでているので，各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し，地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

## 第6節 宮城県図書館

### 1 宮城県図書館振興基本計画

#### ○ 基本方針

図書館を広く県民の利用に供し、県民の図書、記録その他の資料や情報に対する要求に応え、県民の課題解決に資する図書館として、文化や教育、産業の振興等に寄与します。

なお、計画期間は平成25年度から平成29年度の5カ年で進めるものです。

#### ○ 目標

県民がいつでもどこでもだれでもが求める本や情報にアクセスできる環境を整備し、県内の公立図書館・公民館等読書施設等との連携・協力関係を通して、県図書館を中核とした図書館ネットワーク体制を充実し、県図書館ひいては市町村図書館等を含めた全県的な図書館サービスの質的向上を図ります。

- (1) 県民の課題解決を支援する宮城県図書館
- (2) 県全域の図書館サービスを支える宮城県図書館
- (3) 子どもの読書活動を支援する宮城県図書館
- (4) 郷土資料や震災資料を確実に未来に伝える宮城県図書館

#### ○ 重点

図書館がその役割を十分果たすための具体的な取組を以下の4項目で重点的に取り組みます。

##### (1) 「資料・情報を充実させる取組」

図書館サービスの基礎となる蔵書等について、利用者のニーズを把握し、可能な限り幅広く収集するとともに、整理・体系化し、資料の有効かつ効率的な活用を図ります。

また、図書館の持つ人的資源や情報資源あるいは、蓄積された技術力を活用し、付加価値の高い情報の発信を行います。

##### (2) 「図書館を使う人・支える人への取組」

図書館の利用者に対して、生涯学習の支援拠点としての環境の整備と子どもの読書環境の構築・充実をめるとともに、図書館の運営に携わる職員の資質向上や研鑽する場の提供などを通じて、市町村図書館等との協働のネットワーク体制の充実を図ります。

##### (3) 「サービス基盤を強化する取組」

厳しい財政状況あるいは、限られた人的資源・物的資源の中での利用者サービスの質的向上に向けて、職員の育成と組織の充実・強化に取り組むとともに、サービスを提供する事業者としての図書館の機能の発揮と拡充に努めます。

##### (4) 「震災復興への取組」

被災市町村図書館等の復興への支援を継続するとともに、震災に関連する記録・記憶等未来に引き継ぐことが必要な震災資料の継続的な収集を行います。

また、市町村と連携し取り組むこととしている震災デジタルアーカイブ(被災地域記録デジタル化推進事業)の供用開始に向けた取組を加速させます。

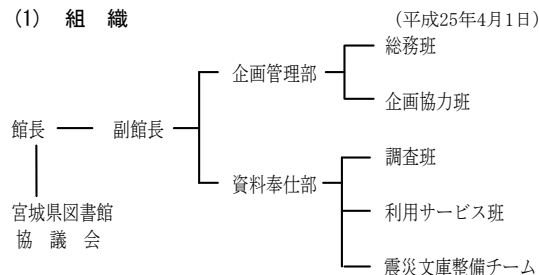
### 2 事業予算

(単位：千円)

区 分	当初予算額	概 要
管 理 経 費	200,335	本館の運営維持費 (職員の人件費を除く)
図 書 館 協 議 会	449	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	3,393	機器使用料、消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	72,154	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	674	広報等に要する経費
資 料 購 入 費	40,037	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	1,400	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
図書館震災文庫整備拡充事業	3,987	震災文庫の整備拡充に要する経費
合 計	322,429	

### 3 職員組織及び事務分掌

#### (1) 組織



#### (2) 職員数

( ) : 司書・司書補有資格者内数

職 名	館 長	副 館 長	部 長	次 長	主 幹	主任主査	主 査	主 事	計	嘱 託	臨時職員	計
人 数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	4 (0)	4 (1)	8 (5)	9 (5)	13 (6)	42 (17)	18 (18)	29 (10)	47 (28)

### 4 宮城県図書館協議会

#### (1) 第31次宮城県図書館協議会委員名簿

任期：平成24年6月15日～平成26年6月14日

(平成25年4月1日現在)

	氏 名	役 職 名
会 長	寺島英毅	前県議会議員(前文教警察委員長)
副 会 長	鶴飼信好	読み語りボランティア「やまがっこう」代表
委 員	佐々木壽徳	県高等学校図書館研究会長 (宮城県築館高等学校長)
委 員	佐藤博人	県連合中学校教育研究会図書館部会長 (角田市立金津中学校長)
委 員	柴崎悦子	名取市図書館長
委 員	長根和広	仙台市民図書館長
委 員	早坂信子	東北学院大学非常勤講師
委 員	細谷みつる	読み聞かせボランティア「のはら」所属
委 員	渡辺雅昭	楡河北新報社編集局長兼生活文化部長

※敬称略。委員は50音順。

- (2) 宮城県図書館協議会開催状況
- 第1回 平成25年7月9日(火)
- 報告事項 ① 文化財資料等の移管について  
② 宮城県公文書館の開館について  
③ 平成24年度事業実績概要  
④ 平成25年度事業計画概要(主要事業概要)  
⑤ 北日本図書館大会宮城大会開催概要
- 第2回 平成25年10月22日(火)
- 報告事項 ① 第三次みやぎ子ども読書活動推進計画の策定について  
② 図書館ネットワークシステム更新事業の取組状況について  
③ 被災地域記録デジタル化事業の取組状況について  
④ 市町村支援事業の取組状況について
- 意見交換 ① ボランティア等図書館に携わる人材の育成  
② 施設等の有効利用と環境整備
- 第3回 平成26年2月21日(金)
- 協議事項 ① 平成25年度主要事業の実施状況について  
② 平成26年度主要事業の実施計画について  
③ 第三次みやぎ子ども読書活動推進計画(県図書館関係)について
- 意見交換 ○ これまでの協議会活動等を踏まえての今後の図書館運営等の方向性について

## 5 実施事業の概要

### (1) 資料・情報を充実させる取組

#### イ 収集の充実

資料の受入状況と所蔵数(平成26年3月31日現在)

種別	H25年度受入冊数	所蔵冊数
図書・視聴覚資料	18,797	1,109,377
種別	受入タイトル数	所蔵タイトル数
新聞・雑誌	2,948	22,992

#### ロ 活用の充実

- ① パスファインダーの作成・公開  
6テーマ(オリンピック、医療情報等)の作成、配布及びホームページでの公開を行いました。
- ② 特別展・常設展等の開催  
当館展示室で、次の特別展・常設展等を開催しました。

テーマ	期日
往古のみやぎーみちびかれる道訪ねゆくまちー	平成25年3月1日～平成25年6月30日
きらめく叡智と美のしづく展	平成25年7月6日～平成25年10月25日
小松左京の世界(プレ展示)	平成25年9月7日～平成25年10月25日
ふるさと、その日ー新聞にみる懐かしのみやぎー	平成25年11月2日～平成26年2月16日
東日本大震災文庫展Ⅳ 小松左京が遺したものー震災の記憶・未来へのことばー	平成26年3月1日～平成26年6月27日

#### ③ みやぎ県民大学の開催

9月中の土曜日4回にわたり本館職員が講師となって開催し、延べ85人が受講しました。

	テーマ	期日
第1回	雑誌に見る宮城県の20世紀	平成25年9月7日
第2回	災害の記録と図書館	平成25年9月14日
第3回	モノを知る、世界を知るー知之大系としての博物学ー	平成25年9月21日
第4回	MIYAGIのMANGA	平成25年9月28日

#### ④ 教養講座の開催

本館館長が講師となって教養講座を開催し、114人が受講しました。

テーマ	期日
会津藩における藩士教育を考える	平成25年10月5日

#### ⑤ 複製資料貸出事業

当館所蔵貴重資料複製資料や古典名作複製資料を展示会や学校教育での活用を図るため、市町村図書館、公民館、学校等15施設に対し、延べ22回貸出を行いました。

#### ⑥ 貴重資料の修復・複製

平成25年度宮城県図書館所蔵和古書複製製作事業を実施し、「伊達文庫」についてマイクロフィルム撮影を行い、複製本177タイトル(609冊)を作製しました。また、これとは別に「加美郡軽井澤并玉造郡中山絵図」1点の修復事業を実施しました。

### (2) 図書館を使う人・支える人への取組

#### イ 学習機会の提供

##### ① 図書館ボランティア活動促進

登録制によるボランティア募集を行い、書架整理、図書館案内、音訳、読み聞かせ各分野で104人が登録し、活動を行いました。

##### ② 図書館ボランティア養成講座の開催

活動に必要な基礎的知識・技能を身に付けるため、一般講座延べ4回、専門講座延べ23回、全体研修会1回を開催しました。

##### ③ ビブリオバトルの開催

平成25年11月2日(土)、当館職員の自主企画としてビブリオバトルを開催し、一般利用者28人が参加しました。

#### ロ 課題解決支援

##### ① レファレンス事例の作成・公開

###### a レファレンス事例の公開

本館で調査回答した相談事例の中から参考事例を抽出随時追加更新しながらホームページで公開しました。

区 分	平成25年度
各年度・新規公開事例数	42件
公開事例総数	220件

###### b レファレンス協同データベースへの登録推進

国立国会図書館が行っているレファレンス協同データベースへの登録を積極的に推進しました。

区 分	平成25年度
公開事例総数	706件

#### ハ 次世代を担う子どもたちと子どもの読書環境構築に携わる人のために

##### ① 子どもの本展示会の開催

平成24年に出版された児童書、絵本等約1,800冊を当館1階エントランスで展示しました。

期間	平成25年4月26日～平成25年5月8日
入場者数	2,269人

##### ② 子どもの本移動展示会

子どもの本展示会で展示した図書等を、市町村図書館や小学校等に貸出しました。

期間	平成25年6月10日～平成26年2月21日		
実施場所	公共図書館等	16会場	入場 5,924人
	県内小学校	38会場	入場 11,706人

③ 学サポセットの貸出

市町村図書館等と小・中学校との協力・連携への側面的支援のための児童書セット（テーマ別、学年別）を市町村図書館等10館に対し、43セットを貸出しました。

二 市町村図書館等職員への支援

① 公共図書館等職員研修会

市町村図書館等職員を対象とする研修会を開催し、県内図書館関係職員の全体的なスキルや意欲、資質等の向上を図りました。

内 容	期 日	参加者
I 初任者研修（図書館の概要、著作権等）	平成 25 年 4 月 19 日	74 人
II 第 64 回北日本図書館大会宮城大会（主催／北日本図書館連盟）と合同開催	平成 25 年 6 月 20 日～6 月 21 日	157 人
III 障がい者サービス、ピブリオバトル等	平成 25 年 8 月 30 日	53 人
IV レファレンスサービス	平成 25 年 10 月 17 日	30 人
V 図書館地区別（北日本）研修（主催／文部科学省）と合同開催	平成 25 年 11 月 26 日～11 月 29 日	81 人

② 巡回相談の実施

図書館行政に関わる職員への支援と連携・協働を進めるため、市町村図書館・公民館図書室を訪問し、運営相談、情報提供などを行いました。

期 間	平成 25 年 4 月 12 日～5 月 10 日 平成 25 年 10 月 3 日～10 月 24 日
訪問先	市町村図書館 21 館／公民館 14 館

③ 出前講座の実施

市町村における図書館業務の専門的知識習得と技術力向上を支援するため、市町村図書館等が行う研修会等へ当館職員を7市町、延べ11回派遣しました。

(3) サービス基盤を強化する取組

イ 図書館ネットワークシステムの更新

セキュリティ対策、機器の陳腐化への対応、効率的なWebサイトの運用など、各種システム改善、機能の追加等を図り、より利用しやすい図書館ネットワークシステムを構築しました。

開発期間	平成 25 年 9 月 30 日～平成 26 年 2 月 28 日
------	-----------------------------------

ロ Web サービスの強化

① 叡智の杜 Web リプレイス

図書館ネットワークシステムの更新に併せ、本館叡智の杜Webの拡充を図りました。

内 容	登録数
宮城県内公共図書館所蔵郷土論文目録	34,723 件
図書館関係記事索引	1,116 件
地域資料関係記事索引	1,695 件
宮城県図書館古典籍類所蔵資料	14,464 件

(4) 震災復興への取組

イ 震災資料の収集・震災に関するデジタルアーカイブの構築

① 東日本大震災文庫の整備

東日本大震災の記録・記憶を後世に伝え、防災対策や災害復興に寄与するため、震災関連資料の収集と整備を行いました。

	種 別	所蔵点数
震災文庫資料	図 書	2,976 冊
	雑 誌	1,257 冊
	視聴覚資料	28 点
	チ ラ シ	2,128 点

② (仮称) 宮城県震災アーカイブの構築

県内 33 市町村と連携し、震災関係資料のデジタル化及びデジタルデータ公開システムの構築等準備を行いました。

(5) その他

イ 「サービス向上・マナーアップ推進キャンペーン」の実施

職員による利用者サービス向上と利用者のマナーアップの推進を図るため、10 月中の 1 か月を期間としてキャンペーンに取り組みました。

対 象	内 容
職員向け	① 職場目標の掲示
	② サービス一斉点検の実施
利用者向け	① マナーアップポスターの掲示
	② しおり配布
	③ 職員等による巡回及び館内放送の実施
	④ 棄損・汚損本等の展示

※市町村図書館等の協力を得て、合同でマナーアップキャンペーンを開催しました。

ロ 東北・北海道地域を対象とした事業の実施

① 第 64 回北日本図書館大会宮城大会の開催

「繋ぐ・繋がるこれからの図書館」をテーマに、基調講演、パネルディスカッション等を行い、復興に向け、地域に役立つ図書館のあり方等について研修しました。

期 間	平成 25 年 6 月 20 日～ 平成 25 年 6 月 21 日
参加者数	157 人

② 平成 25 年度図書館地区別（北日本）研修の開催

文部科学省から委託を受け、「地域における情報拠点としての図書館へ」をテーマに、講義やワークショップ等を行い、中堅司書の力量を高めるための研修を行いました。

期 間	平成 25 年 11 月 26 日～ 平成 25 年 11 月 29 日
参加者数	81 人



6 平成25年度図書館資料所蔵状況（統計）

(1) 受入資料一覧表

第5-12表 図書・視聴覚資料

単位/冊・点（平成26年3月31日現在）

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	6,271	1,475	1,052	8,798	948	7,850	689,603
洋書	9	9	0	18	0	18	17,108
ハングル資料	0	1	0	1	0	1	2,076
中国書	0	1	0	1	0	1	5,791
一般図書等 小計	6,280	1,486	1,052	8,818	948	7,870	714,578
貸出用児童書	2,197	74	22	2,293	12	2,281	72,604
保存用児童書	2,224	168	3	2,395	0	2,395	106,628
貸出用紙芝居	48	0	0	48	0	48	992
保存用紙芝居	6	0	0	6	0	6	2,419
街頭紙芝居	0	0	0	0	0	0	5,333
教育紙芝居	0	0	0	0	0	0	1,473
児童資料 小計	4,475	242	25	4,742	12	4,730	189,449
郷土資料	508	1,675	91	2,274	7	2,267	64,763
和古書	0	0	0	0	0	0	38,417
漢籍	0	0	0	0	0	0	18,886
地図資料	0	247	52	299	0	299	10,062
電子図書	0	0	0	0	0	0	922
マイクロフィルム	136	0	0	136	0	136	17,384
郷土資料等 小計	644	1,922	143	2,709	7	2,702	150,434
館外奉仕用図書	0	0	0	0	0	0	0
図書資料 小計	11,399	3,650	1,220	16,269	967	15,302	1,054,461
16mm フィルム	0	0	0	0	0	0	1,683
8mm フィルム	0	0	0	0	0	0	18
スライドフィルム	0	0	0	0	0	0	1,174
録画テープ(U マチック)	0	0	0	0	0	0	24
録画テープ(ベータ)	0	0	0	0	0	0	30
録画テープ(VHS)	0	3	21	24	83	-59	11,028
CD-ROM(主に映像)	0	0	0	0	0	0	341
レーザーディスク	0	0	0	0	0	0	950
DVDビデオ	267	40	50	357	81	276	3,505
レコード	0	0	0	0	0	0	1,320
カセットテープ	0	0	2	2	2	0	4,503
オープンリールテープ	0	0	0	0	0	0	773
コンパクトディスク	91	86	17	194	15	179	16,297
楽譜	0	6	16	22	0	22	8,910
ELIB	0	0	0	0	0	0	99
視聴覚資料 小計	358	135	106	599	181	418	50,655
図書資料	951	417	0	1,368	1	1,367	2,976
逐次刊行物資料	416	125	0	541	2	539	1,257
視聴覚資料	6	14	0	20	0	20	28
震災資料 小計	1,373	556	0	1,929	3	1,926	4,261
総計	13,130	4,341	1,326	18,797	1,151	17,646	1,109,377

第5-13表 逐次刊行物

区分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	10,412種	1,314種	358種	956種	19種
	みやぎ資料室	2,768種	456種	7種	449種	0種
	子ども図書室	250種	40種	19種	21種	0種
	小計	13,430種	1,810種	384種	1,426種	19種
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,627種	556種	166種	390種	1種
	子ども図書室	19種	1種	0種	1種	0種
	小計	3,646種	557種	166種	391種	1種
行政資料	新聞雑誌室	3,007種	327種	123種	204種	7種
	みやぎ資料室	2,056種	156種	1種	155種	0種
	小計	5,063種	483種	124種	359種	7種
新聞	新聞雑誌室	646種	89種	61種	28種	2種
	みやぎ資料室	201種	5種	0種	5種	0種
	子ども図書室	6種	4種	1種	3種	0種
	小計	853種	98種	62種	36種	2種
計		22,992種	2,948種	736種	2,212種	29種
前年度		22,868種	2,969種	768種	2,201種	27種

\*子ども図書室には児童資料研究・相談室を含む

7 来館者サービス等利用状況（統計）

(1) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数  
第5-14表

区分	開館日数	入館者数	1日平均入館者数	個人貸出冊数	1日平均貸出冊数	調査相談件数
平成25年度	297日	385,099人	1,297人	691,768冊	2,329冊	19,600件
前年度計	269日	379,073人	1,409人	685,043冊	2,547冊	23,541件
増減	+28日	+6,026人	-112人	+6,725冊	-218冊	-3,941件

\*平成24年度は、災害復旧工事（H24.6.1～6.29）及び蔵書点検（H25.1.24～2.6）のため臨時休館。  
\*平成25年度は、図書館システム更新（H26.2.18～2.28）のため臨時休館。

(2) 利用登録者数及び個人貸出冊数

第5-15表 平成25年度新規登録者数

	平成25年3月末現在	平成26年3月末現在
利用登録者数	270,155人	275,553人
対前年比	+5,419人	+5,398人
新規登録者数	5,480人	5,488人

\*対前年比には新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む。

第5-16表 利用登録者の居住市町村別内訳

	平成25年3月末現在		平成26年3月末現在	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比
仙台市	205,227人	75.9%	209,001人	75.8%
（内訳）青葉区	66,470人	24.6%	67,809人	24.6%
宮城野区	19,120人	7.1%	19,362人	7.0%
若林区	8,344人	3.1%	8,450人	3.1%
太白区	18,242人	6.8%	18,473人	6.7%
泉区	93,051人	34.3%	94,907人	34.4%
富谷町	19,141人	7.1%	19,837人	7.2%
大和町	6,620人	2.5%	6,854人	2.5%
大崎市	5,718人	2.1%	5,837人	2.1%
利府町	4,877人	1.8%	4,957人	1.8%
多賀城市	4,256人	1.6%	4,327人	1.6%
名取市	3,880人	1.4%	3,959人	1.4%
塩竈市	2,933人	1.1%	2,971人	1.1%
その他	17,508人	6.5%	17,810人	6.5%
合計	270,160人	100.0%	275,553人	100.0%

\*市町村は、全利用登録者数に占める構成比が多い順に記載した。

第5-17表 個人貸出冊数の居住市町村別内訳

	平成24年度		平成25年度	
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	541,485冊	79.0%	549,227冊	79.4%
（内訳）青葉区	159,494冊	23.3%	160,911冊	23.3%
宮城野区	20,513冊	3.0%	16,851冊	2.4%
若林区	6,079冊	0.9%	5,728冊	0.8%
太白区	13,627冊	2.0%	13,864冊	2.0%
泉区	341,772冊	49.8%	351,873冊	50.9%
富谷町	79,665冊	11.6%	79,164冊	11.4%
大和町	23,664冊	3.5%	24,273冊	3.5%
大崎市	8,198冊	1.2%	8,153冊	1.2%
利府町	6,878冊	1.0%	7,809冊	1.1%
多賀城市	3,878冊	0.6%	3,157冊	0.5%
塩竈市	2,678冊	0.4%	2,441冊	0.4%
名取市	2,256冊	0.3%	2,300冊	0.3%
その他	16,341冊	2.4%	15,244冊	2.2%
合計	685,043冊	100.0%	691,768冊	100.0%

\*市町村は、全個人貸出冊数に占める各市町村の貸出冊数合計の構成比が多い順に記載した。

(3) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

第5-18表

（単位：冊、％）

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	震災資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他							
蔵書冊数	30,611	37,584	79,633	129,878	48,966	47,810	30,263	62,519	12,588	173,378	2,399	24,975	150,434	189,449	50,655	4,261	33,974	1,109,377
構成比*1	2.8%	3.4%	7.2%	11.7%	4.4%	4.3%	2.7%	5.6%	1.1%	15.6%	0.2%	2.3%	13.6%	17.1%	4.6%	0.4%	3.0%	100.0%
構成比*2	4.7%	5.8%	12.2%	19.9%	7.5%	7.3%	4.6%	9.6%	1.9%	26.5%	/	/	/	/	/	/	/	100.0
前年度計	30,259	37,224	78,651	128,022	48,192	47,043	29,056	61,751	12,466	172,016	1,703	24,955	147,732	184,719	50,237	2,335	35,370	1,091,731
増減	352	360	982	1,856	774	767	1,207	768	122	1,362	696	20	2,702	4,730	418	1,926	-1,396	17,646
貸出冊数	6,286	18,976	29,402	41,632	33,801	37,236	15,091	37,792	6,525	152,040	167	802	-	194,001	118,017	-	-	691,768
構成比*1	0.9%	2.7%	4.3%	6.0%	4.9%	5.4%	2.2%	5.5%	0.9%	22.0%	0.0%	0.1%	-	28.0%	17.1%	-	-	100.0%
構成比*2	1.7%	5.0%	7.8%	11.0%	8.9%	9.8%	4.0%	10.0%	1.7%	40.1%	/	/	/	/	/	/	/	100.0%
前年度計	4,970	17,636	28,393	39,484	24,139	32,852	12,535	33,338	5,320	134,981	49,494	1,573	-	181,975	118,353	-	-	685,043
増減	1,316	1,340	1,009	2,148	9,662	4,384	2,556	4,454	1,205	17,059	-49,327	-771	-	12,026	-336	-	-	6,725

\*構成比\*1：対総数での構成比を算出したもの

\*構成比\*2：一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

## (4) 古書閲覧及び特別利用

第5-19表

(単位: 件, 冊)

	閲覧 利用	特別利用									
		特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾	計	
平成25年度計	利用件数	68	18	6	0	56	0	0	5	0	85
	利用冊数	2,567	57	230	0	136	0	0	9	0	432
前年度計	利用件数	53	19	18	0	57	1	3	9	0	107
	利用冊数	1,731	87	239	0	150	1	11	13	0	501

## (5) 調査相談の利用

第5-20表

(単位: 件)

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
平成25年度計	1,632	98	226	17,621	23	19,600
前年度計	2,990	152	194	20,203	2	23,541

## (6) 文献複写の利用

第5-21表 種類別枚数 (単位: 枚)

種別		枚数
電子 複写	白黒	96,833 (107,154)
	カラー	955 (848)
マイクロフィルム		10,608 (13,849)
写真撮影		16,299 (15,646)
計		124,695 (137,497)
月平均		10,391 (11,458)

( ) は前年度

第5-22表 受付窓口別枚数 (単位: 枚)

種別	枚数
一般図書 カウンター	10,211 (15,131)
調査相談 カウンター	12,721 (15,666)
新聞雑誌室	39,862 (43,846)
みやぎ資料室	45,602 (62,854)
計	108,396 (137,497)

( ) は前年度

## (7) 障がい者サービス

第5-23表 郵送貸出の利用

	新規 登録	資料別貸出状況											
		図書	朗読テープ		デジ版		点字雑誌	ビデオ	C D	DVD	楽譜 その他	合計	
平成25年度計	25人	利用件数	421件	58件		37件		48件	28件	117件	62件	1件	772件
		利用冊数	1,191冊	77タイトル	126点	39タイトル	39冊	118冊	78点	318点	121点	1点	1,992点
前年度計	20人	利用件数	458件	155件		63件		48件	22件	159件	60件	1件	669件
		利用冊数	1,375冊	177タイトル	680点	51タイトル	64冊	117冊	74点	416点	97点	1点	2,824点

第5-24表 音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス							調査 相談 件数
		朗読テープの作成		対面朗読		電話音訳		計	
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
平成25年度計	実施件数	14件	14件	0件	2件	47件	59件	136件	576件
	のべ時間	14.0時間	77.7時間	0.0時間	3.9時間	32.2時間	41.0時間	168.8時間	
前年度計	実施件数	15件	16件	3件	2件	68件	46件	150件	619件
	のべ時間	38.0時間	181.0時間	6.0時間	4.0時間	37.7時間	27.9時間	294.6時間	

## (8) 施設見学状況

第5-25表

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		見学等小計		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成25年度計	0	0	6	119	19	850	25	969	21	751	0	0	8	30	33	999
前年度計	0	0	14	363	22	440	36	803	26	453	0	0	9	22	45	825

8 図書館等への協力貸出利用状況（統計）

第5-26表 県内図書館等への協力貸出冊数（単位：冊）

図書館名	平成24年度	平成25年度
仙 台 市 民	628	521
仙 台 市 広 瀬	109	109
仙 台 市 宮 城 野	146	256
仙 台 市 榴 岡	130	144
仙 台 市 若 林	191	349
仙 台 市 太 白	478	326
仙 台 市 泉	605	334
石 巻 市	283	400
塩 竈 市 民	413	394
気 仙 沼 市	660	438
（気仙沼市）本吉町	74	36
白 石 市	609	762
名 取 市	151	782
角 田 市	520	415
多 賀 城 市	690	937
岩 沼 市	554	562
登 米 市 立 迫	800	543
登 米 市 立 登 米	112	91

図書館名	平成24年度	平成25年度
栗 原 市 立	531	469
東 松 島 市	158	181
大 崎 市	1,026	860
柴 田 町	515	767
蔵 王 町 立	696	681
丸 森 町 立 金 山	60	43
亘 理 町 立	329	345
利 府 町	903	1,022
加 美 町 中 新 田	170	313
加 美 町 小 野 田	318	203
美 里 町 小 牛 田	1,161	1,186
美 里 町 南 郷	305	197
南 三 陸 町	286	96
小 計	13,611	13,762
公民館図書室等	4,498	4,283
県内貸出 計	18,109	18,045
県外図書館等	686	780
合 計	18,795	18,825

第5-27表 県外図書館等への協力貸出冊数（単位：冊）

都道府県	平成24年度	平成25年度
北 海 道	93	121
青 森	90	83
岩 手	112	116
秋 田	75	62
山 形	90	94
福 島	48	70
茨 城	11	6
栃 木	20	1
群 馬	4	1
埼 玉	6	9
千 葉	9	11
東 京	9	26
神 奈 川	5	25
新 潟	3	7
山 梨	2	3
長 野	3	4
静 岡	15	5
富 山	1	2
石 川	0	1
福 井	2	6
岐 阜	4	2
愛 知	17	25
三 重	3	11

都道府県	平成24年度	平成25年度
滋 賀	3	25
京 都	20	10
大 阪	11	5
兵 庫	5	3
奈 良	0	1
和 歌 山	1	0
鳥 取	0	1
島 根	0	0
岡 山	0	7
広 島	4	4
山 口	3	5
徳 島	0	4
香 川	2	0
愛 媛	3	1
高 知	0	1
福 岡	7	10
佐 賀	2	7
長 崎	2	2
熊 本	0	1
大 分	0	0
宮 崎	1	2
鹿 児 島	0	0
沖 縄	0	0
合 計	686	780

第5-28表 月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

(単位:冊,件)

	貸出冊数			貸受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付件数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
25年度計	18,045	780	18,825	789	86	1	876	1	13	14	15	27	68	110	57	28	85
前年度計	18,109	686	18,795	558	110	1	669	8	32	40	7	4	68	79	84	25	109

第5-29表 貸出依頼受付件数

	平成24年度	平成25年度	平成25年度の内訳		
			県内分	県外分	
貸出依頼受付件数	19,202件	19,141件	18,315件	826件	
処理状況	所蔵資料対応件数	18,689件	18,736件	17,956件	780件
	購入対応件数	106件	89件	89件	0件
	貸出対応小計	18,795	18,825件	18,045件	780件
	借受・他館紹介等	0件	0件	0件	0件
	提供不可	126件	72件	26件	46件

\* 「貸出依頼受付件数」は、本館が県内市町村図書館・公民館図書室等及び県外図書館等からの貸出依頼を受け付けた件数。「処理状況」は、貸出依頼への対応別内訳で、「所蔵資料対応」「購入対応」「借受・他館紹介等」「提供不可」の各々の件数を記載した。ただし、貸出依頼受付後に、キャンセルされる場合等があるため、「貸出依頼受付件数」と「処理状況」の件数は一致しないものがある。

## 第7節 宮城県松島自然の家

### 1 目標

- (1) 被災した社会教育施設として、関係機関と連携しながら出前事業等を通して広く県民サービスに努め、生涯学習社会の構築に寄与する。
- (2) 被災した施設の資料や物品の回収及び整理・保管等を行うと共に、新施設再建へ向けて、検討・準備を進める。

### 2 目標達成のための指針

- (1) 被災地のニーズに応じた主催事業や出前事業の推進
  - ① 県民の一人ひとりが、自然体験や野外活動等とおして、豊かで生きがいのある生活を促進するため、精神的な充足感や新たな自己発見ができる企画運営を行う。
  - ② 県民のニーズに応じた出前事業のプログラムを開発する。
  - ③ 地域関係団体との連携による主催事業を推進するとともに、新たな活動プログラムの開発に努める。
  - ④ 文書や訪問による広報とちらしやリーフレット、ホームページを活用した施設利用の啓発・促進を図る。
  - ⑤ 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
- (2) 施設再建へ向けた取組
  - ① 被災した施設のがれき撤去を進めるとともに、資料(データ)や使用可能な物品の回収・保管・整理に努める。
  - ② 施設再建へ向けて資料や情報の収集に努める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員の構成

所長	—	研修支援班長	{ 事務職員 (1) 技師 (栄養士) (0) 社会教育主事 (2)	計5人	

#### (3) 予算 (単位:千円)

項目	金額
管理費	3,860
事業費	1,083
施設設備費	0
合計	4,943

#### (4) 収容人数

キャンプ場 (テント)	0人	※震災により使用できないため
宿泊室	0人	同上

### 4 事業概要

#### □ 主催事業

##### 第5-30表

No	事業名	期日	対象及び参加人数	ねらいと内容
1	奥松島ウォーキング	5月11日(土)	一般県民 (65人)	ウォーキング初心者の方々に奥松島の景観を親しみつつウォーキングの楽しさを味わうとともに、参加者同士の交流・親睦を図る。
2	絆を深めるレクリエーション入門Ⅰ	6月15日(土)	一般県民 (13人)	よりよいコミュニケーションづくりへ向けて、グループの出会いや仲間づくりの基本的な手法を体験することとおして、リーダーとしての資質を高める。
3	シーカヤック体験会	7月20日(土)	一般県民 (20人)	シーカヤックで、海上から奥松島の景観を楽しみながら、健康増進と参加者同士の交流・親睦を図る。
4	防災ファミリーキャンプ	8月10日(土)～11日(日)	一般県民 (10人)	キャンプや野外活動の体験活動を通して、参加者相互の交流を図り、自然の中で活動する楽しさを味わったり、防災教育とも関連し、テント泊や防災レシピづくりを体験したりする。
5	フィッシング入門	9月28日(土)	小学4年生の子どもとその家族及び成人釣り初心者 (30人)	釣り初心者が奥松島の景観を楽しみながら船釣りを体験し、参加者同士の交流・親睦を図る。
6	わくわくウォーキング	10月12日(土)	一般県民 (45人)	ウォーキング初心者の方々に東松島市の自然に親しみつつウォーキングの楽しさを味わい、かつ参加者同士の交流・親睦を図る。
7	クラフトinウィンター	12月14日(土)	一般県民 (18人)	瓦礫を利用した「木工グッズ」づくりに親しみ、参加者相互に鑑賞し合うとともに、交流・親睦を図る。
8	絆を深めるレクリエーション入門Ⅱ	1月18日(土)	一般県民・社会教育・学校教育関係者等 (21人)	グループのコミュニケーションづくりと信頼関係の構築をめざして、簡単なレクリエーション・ゲームの体験をおして、参加者相互の交流と集団のリーダーとしての資質を高める。
9	おいSEA! 冬の奥松島 悪天候により中止	2月15日(土)	参加予定者数 (30人)	海の幸を材料にした料理づくりをおし、冬の奥松島の豊かな海の恵みを味わうとともに、参加者同士の交流と親睦を深める。
10	バードウォッチング入門	2月22日(土)	一般県民 (13人)	奥松島の自然にふれながら、野鳥の観察に親しみとともに参加者相互の交流を図る。

## (2) 利用状況

第5-31表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊 可能日数 (日)	宿泊 利用日数 (日)	利用 団体数 (団体)	利用者実数					利用者 延人数 (人)	宿泊 利用者延人数 (人)	宿泊 者延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体数 (団体)	延人数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校 生等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	23	9	0	0	9	16	1	0	427	444	444	0	0	9	444
						16	1	0	427	444					
5月	25	9	0	0	9	133	0	0	502	635	635	0	0	9	635
						133	0	0	502	635					
6月	26	17	0	0	18	669	2	35	353	1,059	1,059	0	0	18	1,059
						669	2	35	353	1,059					
7月	26	14	0	0	15	603	19	0	296	918	918	0	0	15	918
						603	19	0	296	918					
8月	26	10	0	0	11	274	0	0	121	395	395	0	0	11	395
						274	0	0	121	395					
9月	21	12	0	0	13	432	0	21	368	821	821	0	0	13	821
						432	0	21	368	821					
10月	27	14	0	0	14	428	0	14	440	882	882	0	0	14	882
						428	0	14	440	882					
11月	22	13	0	0	13	462	0	17	284	763	763	0	0	13	763
						462	0	17	284	763					
12月	21	10	0	0	10	268	0	15	223	506	506	0	0	10	506
						268	0	15	223	506					
1月	21	8	0	0	8	159	0	9	141	309	309	0	0	8	309
						159	0	9	141	309					
2月	20	3	0	0	3	75	0	0	61	136	136	0	0	3	136
						75	0	0	61	136					
3月	21	3	0	0	3	34	0	0	53	87	87	0	0	3	87
						34	0	0	53	87					
累計	279	122	0	0	126	3,553	22	111	3,269	6,955	6,955	0	0	126	6,955
						3,553	22	111	3,269	6,955					

※震災により被災し、年間を通じて施設利用受け入れは不可の状態

## 第8節 宮城県蔵王自然の家

### 1 目標

#### ○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にす少年
  - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
  - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をとおして生涯学習社会の構築に寄与する。

#### ○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をとおして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

#### (1) 規 律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなが楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

#### (2) 協 同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合っ一つ一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

#### (3) 友 愛

協同生活をとおして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

#### (4) 奉 仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をするこの楽しさを学ぶ。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 教育内容の充実

- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。
- ⑤ セカンドスクールの実施など積極的な学校・社会教育施設及び大学との連携融合を図る。

#### (2) 広報活動の充実

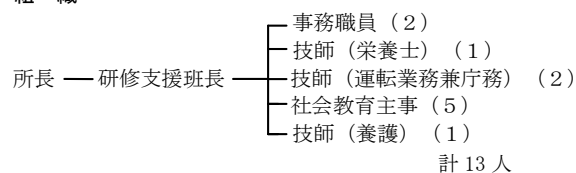
- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
- ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
- ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。

#### (3) 施設・設備の整備、充実

- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
- ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

### 3 組織と予算

#### (1) 組 織



#### (4) 予 算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	44,035
事 業 費	3,701
施 設 整 備 費	7,787
合 計	55,523

#### (3) 収容人数

宿泊室 254人  
山小屋 120人  
テント 75人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業

第5-32表

##### ① 幼児・小・中学生を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者(人)		事業内容
				実人数	延人数	
1	青少年長期自然体験活動推進事業 (チャレンジin蔵王)	8月4日(日) ～8月10日(土)	小学5年～ 中学3年 42人	42	294	蔵王の大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動をとおして、たくましく、主体的・自立的な生活をし、生きる力をはぐくむ。 (MAP活動、川遊び、イワナつかみ、地藏岳・刈田岳トレッキング、野外炊飯、星を見る会、肝試し、乳搾り、バター作り、南蔵王縦走、スコアオリエンテーリング、キャンドルサービス、壁掛けづくり等)



② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者(人)		事業内容
				実人数	延人数	
1	満喫！蔵王の春	5月25(土) ～26(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	74	148	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の触れ合いや他家族との交流・親睦を図る。
2	満喫！蔵王の夏	8月24日(土) ～25日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	112	224	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
3	満喫！蔵王の秋	10月19日(土) ～20日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	105	210	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
4	満喫！蔵王の冬	2月15日(土) ～16日(日)	小学生か中学生の 子どもと親 30組 100人	77	154	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。
5	家族のつどい	①7月13日(土) ②7月14日(日) ③10月5日(土) ～6日(日) ④2月1日(土) ～2日(日)	家族15組 50人	① 102 ② 96 ③ 98 ④ 86	① 102 ② 96 ③ 98 ④ 86	蔵王の自然の中で、親子で自然体験活動に親しみ、親子の触れ合いとその絆を深める。 (登山とハイキング、野外炊飯、Eボート体験、沢遊び、自然物を使った創作活動、ニジマスつかみ、芋煮会、レクリエーション大会、雪遊び、アルペンスキー等)

③ 学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者(人)		事業内容
				実人数	延人数	
1	野外教育施設ボランティア養成講座 ～企画・実践講座～	①5月18日(土) ～19日(日) ②10月12日(土) ～13日(日) ③1月18日(土) ～19日(日)	大学生・社会人 20人	① 15 ② 11 ③ 18	① 30 ② 22 ③ 18	・蔵王自然の家利用者のニーズに対応するため、実践的な研修をとおして、社会教育施設を支える人材を育成する。 ・蔵王自然の家での活動支援に必要な基本的技能を習得する。 ・ボランティア希望者の協力体制を構築する。
2	スキー指導者研修会	1月7日(火)	利用団体活動引率者及び大学生・社会人	40	40	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引率者を対象に、児童・生徒へのスキー指導の心構えと指導場所等の確認をし、併せて資質の向上を図る。
3	利用事前研修会	4月3日(水)	4月利用の学校・各団体	14	14	蔵王自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の各種調整を行う。
		4月12日(金)	5月～7月12日利用の学校・各団体	76	76	
		6月16日(日)	8月1日～夏休み8月利用の学校・各団体	70	70	
		6月28日(金)	8月25日～11月1日利用の学校・各団体	61	61	
		11月8日(金)	冬利用の学校	19	19	
		12月8日(日)	冬利用の学校以外の各団体	26	26	
4	初心者のための登山教室	①4月20日(土)～ 21日(日) ②6月9日(日) ③8月31日(土)～ 9月1日(日)	50歳以上の方 20人程度	① 13 ② 13 ③ 13	① 26 ② 26 ③ 26	登山に関する基礎技術を習得し、蔵王の美しい山々を登山しながら、同好の士と交流し親睦を深める。
5	初心者のための山ガール教室	①7月27日(土) ②10月13日(土)	18歳以上の女性 (40名程度)	① 27 ② 26	① 27 ② 26	蔵王の登山をとおして自然の美しさや、登山の楽しさを味わう。
6	みやぎアドベンチャープログラム体験会 (MAP講習会Ⅲ)	12月24日(火)～ 26日(木)	社会教育主事・青少年教育指導者 *MAPⅡ修了者 20人	10	10	各自の実戦経験を基にグループを支援し合うことで、MAPの理論をより深く理解し、支援者としての技量の向上を図る。

## (2) 利用状況

第5-33表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	25	19	21	13	27	499	412	82	256	1,249	2,921	2,771	1,672	16	150
						1,287	1,064	207	363	2,921					
5月	27	26	23	18	70	1,788	3	147	301	2,239	4,652	4,443	2,413	36	209
						3,875	6	324	447	4,652					
6月	26	23	21	17	56	1,327	64	177	244	1,812	4,019	3,782	2,207	17	237
						3,143	173	424	279	4,019					
7月	27	26	24	21	73	1,605	113	229	564	2,511	4,870	4,453	2,359	30	417
						3,266	231	505	868	4,870					
8月	29	26	22	21	60	719	46	150	428	1,343	3,135	2,983	1,792	19	152
						1,733	113	312	977	3,135					
9月	27	27	22	22	57	1,889	20	212	421	2,542	6,034	5,760	3,492	9	274
						4,589	37	498	910	6,034					
10月	27	21	23	11	33	901	22	70	427	1,420	2,495	1,952	1,075	14	543
						1,726	44	133	592	2,495					
11月	26	15	22	6	24	271	0	18	297	586	901	731	315	16	170
						414	0	30	457	901					
12月	24	13	19	6	18	230	24	33	153	440	639	363	199	13	276
						304	71	39	225	639					
1月	24	21	20	13	49	848	22	122	345	1,337	2,584	2,151	1,247	24	433
						1,769	30	269	516	2,584					
2月	24	21	20	16	41	486	8	78	292	864	1,748	1,530	884	21	218
						973	12	156	607	1,748					
3月	27	15	22	9	33	409	10	40	218	677	1,264	1,151	587	10	113
						795	20	78	371	1,264					
累計	313	253	259	173	541	10,972	744	1,358	3,946	17,020	35,262	32,070	18,242	225	3,192
						23,874	1,801	2,975	6,612	35,262					

## 第9節 宮城県志津川自然の家

### 1 中期目標

「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育み、心豊かな実践力のある青少年の育成を図るとともに、「出会い・ふれ愛・磨き合い」を大切に、研修生自らが積極的に学ぶことができる研修施設としての役割を果たす。

### 2 重点目標

- (1) 利用者のニーズに応じた特色ある学習の場や機会、情報を提供し、指導・助言する等の教育的支援を行う事業を実施することにより、多様で主体的・効果的な学習活動を促進する。
- ① 海洋型自然の家として、周辺の豊かな自然や文化を生かした魅力ある事業を積極的に展開する。
  - ② 地域の復興支援を重視した事業を積極的に展開するとともに、南三陸町及び関係機関と連携し、地域コミュニティ再生を支援する。
  - ③ 地域、関係諸機関と連携した海洋型事業を積極的に展開する。
  - ④ 出前事業を積極的に展開する。
- (2) 青少年の課題やニーズに応じた体験活動等に関する実践発表、ワークショップ、情報交換等により、青少年の体験活動の普及・充実を図る。
- ① 関係諸機関及び諸団体等との企画事業等の共催実施を行う。(MAP講習、ボランティア養成講座、ジュニアリーダー研修会等)
  - ② 青少年の課題やニーズに応じた体験活動や創作活動等の各種研修メニューを提供するとともに効果的な研修支援を行う。
  - ③ 小・中・高校及び公民館等と連携し、青少年の体験活動を積極的に支援する。
- (3) 防災教育プログラムを取り入れた事業を積極的に展開し、自然災害について学ぶ機会を提供し、災害時に必要な知識や技能を身に付けさせる。
- ① 防災・減災教育を取り入れた主催事業を実施する。
  - ② 防災・減災教育に関する情報発信を行う。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員組織

所長	—	次長(班長)	{	事務職員(3)
			{	技師(運転技術兼序務)(1)
			{	技術主査(栄養士)(1)
			{	社会教育主事(3)
				計10人

#### (2) 予算

項 目	金 額(千円)
管 理 経 費	26,518
主 催 事 業 費	2,183
施 設 整 備 費	0
合 計	28,701

#### (3) 収容人数

宿泊定員100人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業

第5-34表

No.	事 業 名	期 日	実 績	ねらい・主な研修内容
1	海青グラウンド・ゴルフ大会	第1回 4月23日(火) 第2回 5月30日(木) 第3回 6月23日(日) 第4回 9月29日(日) 第5回 10月31日(木)	一般成人 第1回 30人 第2回 24人 第3回 30人 第4回 26人 第5回 34人	誰でも気軽にできるグラウンド・ゴルフをとおして、体力づくり・健康の増進と参加者相互の親睦を図る。 (第1回:「道の駅」津山 もくもくランド, 第2回:志津川自然の家 体育館, 第3・4・5回:中田町総合運動場内諏訪公園)
2	ノルディックハイキングin長沼フートピア	6月 1日(土)～ 2日(日) <1泊2日>	一般成人 20人	長沼の自然を満喫しながら、会話をしながら楽しめるノルディックウォーキングをとおして、体力向上を図りながら人との交流を深め、豊かなスポーツライフ作りの実践意欲を醸成する。
3	ボランティア養成講座	6月 9日(日)	一般成人 16人 南三陸町ジュニア・リーダー 4人	「チャレンジ・ザ・ゲーム」の基礎技能の習得をとおして、ボランティアの内容を理解し、ボランティアスタッフとして活動できる知識・技能を身に付けるとともに資質の向上を図る。
4	サマーチャレンジin南三陸	8月2日(金)～8日(木) <6泊7日>	小学校5年生～中学校3年生 29人	南三陸の豊かな自然の中で、海洋研修や自然体験活動を行うことにより、人を思いやる心や自然を大切にすることを養い、心身ともに健やかな児童・生徒を育成する。

5	親子で夏をエンジョイ!	8月24日(土)～25(日)	5歳児、小学校低学年児童及びその保護者29名	人とかかわりや遊びを中心とした自然体験活動とおして、未就学児、小学校低学年児童の自立心や協調性を育むとともに、保護者の子育てに役立つ知識と技能を身に付ける。
6	ノルディックウォーキング&シーカヤックin志津川自然の家	9月1日(日)	小学校以上 26名	南三陸の海や山の自然をノルディックウォーキングとシーカヤック体験とおして満喫し、参加者相互の交流と体力向上を図り、豊かなスポーツライフ作りの実践意欲を醸成する。
7	オープンデー	9月22日(日)	県民 58人	地域の方々に自然の家を開放し、様々な活動を体験してもらうことによって、自然の家への理解をより深めるとともに利用拡大を図る。
8	オータムin志津川	10月5日(土)～6日(日) <1泊2日>	一般成人 28人	志津川湾の恵みを肌で感じるとともに、野鳥の森でのキノコの採集や植物の観察等を通して、南三陸町の自然の素晴らしさや大切さを学び、自然環境への関心を高める。
9	みやぎ県民大学 ～生き生きゆとりライフ～	10月26日(土)	一般成人 17人	海釣りやダッチオープン料理などのアウトドアスポーツ&クッキングをおして、豊かなアウトドアライフの基本を学び、ゆとりある生活について考える。
10	海の味覚 ～親子でくん製作～	11月2日(土)～3日(日) <1泊2日>	親子 24人	海の幸を用いたくん製作を通して、海の味覚を味わったり、くん製作の方法を知ったりして、普段の生活に生かすことができる。また、親子が協力して活動することにより、絆を深めるとともに、自然の素晴らしさに触れ、自然環境を大切にしようとする心と態度を育む。
11	秋色ノルディックウォーキングin平簡沼	11月10日(日)	小学生以上の親子から 一般成人 37人	自然を満喫しながら、ノルディックウォーキングの理論と実技を体験する機会を提供し、健康で豊かなライフスタイルづくりの実践意欲を醸成する。
12	屋内グラウンド・ゴルフ大会	第1回11月23日(土) 第2回12月15日(日) 第3回1月11日(土)	小学生以上 1回目 22人 2回目 中止 3回目 26人	ニュースポーツのグラウンド・ゴルフ体験をおして、交流を深めながら、運動に親しむ。
13	星座&野鳥観察	11月30日(土)～ 12月1日(日) <1泊2日>	小学生以上の親子から 一般成人 31人	プラネタリウムの制作や冬の空の星座観察、バードコール作りや野鳥観察をおして、自然の素晴らしさや大切さを学び、環境保全についての関心を高める。
14	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(水)～27日(金) <2泊3日>	ジュニア・リーダー 上級取得者 26人	子ども会活動及び地域社会の振興を図るため、子ども会活動の支援や地域活動を行う年少リーダー(ジュニア・リーダー)を育成する。ジュニア・リーダーによる発展的な活動についての理解を深めさせ、自主的な活動意欲を高めさせる。
15	南三陸の香り、味	1月18日(土)～19日(日) <1泊2日>	一般成人 28人	南三陸志津川の自然や味にふれることにより、南三陸のよさを知る。
16	ノルディックウォーキング in神割崎	1月26日(日)	小学生以上 36人	南三陸沿岸の自然を満喫しながら、ノルディックウォーキングの理論と実技を体験する機会を提供し、健康で豊かなライフスタイルづくりの実践意欲を醸成する。
17	バードウォッチング入門	第1回 12月8日(日) 第2回 2月9日(日) 第3回 3月2日(日)	県民 第1回 中止 第2回 中止 第3回 9人	自然の素晴らしさを感じながら、野鳥の見分け方や観察方法を実践をおして身に付ける。
18	ノルディックウォーキング in入谷	3月9日(日)	小学生以上 57人	南三陸町入谷地区の自然を満喫しながら、ノルディックウォーキングの理論と実技を体験する機会を提供し、健康で豊かなライフスタイルづくりの実践意欲を醸成する。

(2) 利用状況

第5-35表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊 可能 日数 (日)	宿泊 利用 日数 (日)	利用 団体 数 (団体)	利用者実数					利用者 延人数 (人)	宿泊 利用者 延人数 (人)	宿泊者 延人数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体 数 (団体)	延 人数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校 生 等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	26	21	22	9	27	111	116	26	187	440	656	389	216	20	267
						127	254	48	227	656					
5月	29	27	25	8	35	323	0	31	242	596	757	302	161	28	455
						444	0	45	268	757					
6月	26	25	22	9	46	278	34	35	662	1,009	1,279	452	270	37	827
						386	93	73	727	1,279					
7月	27	26	23	18	49	534	110	91	1,120	1,855	2,913	1,754	1,058	33	1,159
						1,111	277	225	1,300	2,913					
8月	29	27	25	19	25	309	78	37	345	769	1,556	1,268	787	15	288
						776	170	94	516	1,556					

9月	25	22	20	12	32	270	43	58	353	724	1,023	493	299	25	530
						392	80	96	455	1,023					
10月	27	24	23	8	33	264	92	42	1,108	1,506	1,917	743	411	24	1,174
						479	93	72	1,273	1,917					
11月	26	24	22	4	33	228	0	13	441	682	770	176	88	29	594
						253	0	13	504	770					
12月	24	19	22	4	20	66	97	16	233	412	736	536	324	16	200
						78	291	30	337	736					
1月	24	14	20	4	13	54	33	6	185	278	386	194	108	9	192
						54	66	15	251	386					
2月	24	6	20	1	8	42	0	1	124	167	175	16	8	6	159
						48	0	2	125	175					
3月	26	22	21	9	36	146	25	12	878	1,061	1,287	398	226	28	889
						160	68	23	1,036	1,287					
累計	313	257	265	105	357	2,625	628	368	5,878	9,499	13,455	6,721	3,956	270	6,734
						4,308	1,392	736	7,019	13,455					

